

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「入所者様の地域での生活を支援し家族との交流をいたします。」を、設立当初から変わらずホームの理念としています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入所者様への対応の仕方、支援の仕方、家族との連携を図る際、常に理念に立ち返り「入所者様が、穏やかな笑顔で、いられるよう」ケアの有り方を検討しています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	自治会との連携を取らせて頂、地域の納涼祭や、年末の餅つき大会等を通じて、グループホームを理解して頂く為に交流を図り取り組んで着ました。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	開設当初より隣近所への挨拶や、併設の施設との夏祭りへの、お誘いをしています。また、ご近所の方より、家庭菜園で、収穫された野菜等を、お裾分けして頂いたりお付き合いをさせて頂いています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の商店に買い物に出かけたり、隣の食堂に食事に出かけたりすることにより、徐々にグループホームを理解していただけるようになりました。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の中学生や、高校生の職場体験等の、実習を、受け入れ、ボランティアの方の、演芸の発表の場の提供をさせて頂いております		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月1度のミーティングを行い、問題点や改善点を明らかにして、今後も取り組みたいと思います。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一度の、推進会議を開き、安心ケアセンターの方々に、ご指導いただき、地域の方々との連携を通じて、地域の福祉活動と共に、サービスの向上に努めていきたいと思っております。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険に関して相談窓口に出向いて、相談に乗ってもらうこと度々です		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	当ホームにも成年後見人制度を昨年利用された方がおり、御家族と共に取り組みました。制度に関しての理解を深めるようにしています。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止の研修に参加した職員を中心に話し合いを持ち、身体拘束がもたらす多くの弊害、身体拘束廃止に向けたなすべきこと等をお互いに確認しあいました。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時に充分なる説明、理解を頂いております。また、リスクや重度化、見取りについては指針に基づいて説明し理解を得るように勤めております。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に入所者に声掛けをして、不満、苦情を早くに気づき対応に勤めています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一度入所者さんの状況報告をして、面会時などに、御家族の要望を引き出し、苦情対応、状況説明に対応しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入所時に不満、苦情の窓口の、説明をし、推進会議などでの意見をいただけるように働きかけています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に会議を開き運営に関する要望、意見を聞く機会を設け、反映させたいと思っています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者やご家族の状況により職員の体制は、リーダー、他職員が、常時確保できるように話し合いがついており、突発的なことには勤務を変更し、また、残業で対応したりしております。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者にとって馴染みの職員が対応しており継続的に支える体制が出来ている。新しい職員が入った場合には利用者には顔を覚えるまで続けて自己紹介しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員からの希望を取り入れ計画的に研修を受ける機会を持ち、法人、及びホーム内での、勉強会も推進しております。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市のグループホーム研修会に参加し、グループホーム同士の交流を持ち、サービスの向上に役立てています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	話し合いを多く持ち、環境作りに取り組んでいます。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	興味のある事や、学びたい事等把握し資格取得について勉強会の機会や試験日等の調整をしている。各自が頑張っている様子に声掛けしたり、向上心を持って働けるよう応援したりしています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者の個性を大切に考え、特徴を捉え、本人の困っていることや、不安に感じていることなど、時間をかけて、傾聴し、心情を探りながら聞く機会を多く持つようにしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談にこられたときはいろいろな状況や経緯について話をゆっくり聞いて、家族が抱えている、不安、困っていることが、表現できるように勤めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族から情報等を聞き何が必要か話し合い担当者会議等に於いても共有しながら支援を話し合います。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があった場合には、管理者、相談員、ケアマネが、出向いたり、又、見学して頂いたり入居者とも話し合いの場を設けて雰囲気に馴染んで頂き、本人の希望を聞いたり工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者に寄り添い沢山話を聞き、感謝したり、いいところをほめてあげたりの会話が多い。特に調理や、掃除の仕方、趣味のもの作りは、素晴らしいものがあります。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係は、認知の症状や、問題等を共有し、外出外泊時も協力しあい、お互いの思いを言ったり、聴いたり日常の支援をご家族とともに作っていかれるように配慮しています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	近況の報告をしたり、ご家族の話をして話題の共有が出来るように、働きかけたり、良い関係を保てるように働きかけています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	少しずつ忘れることが多くなり、ご家族の話や、お孫さんの話などを盛り込み会話を楽しんでいます。面会にこられたときなど、おもてなしをして関係作りの、お手伝いを支援しています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は利用者の趣味や、嗜好を把握し、会話に盛り込んだり、一緒に散歩に出かけたり、潤滑油の役割が出来るように動めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院になられた方が、退院されたら戻りたいという本人ご家族の希望に添えるように相談に乗ったり、話し合いの場を設けています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望を大切に、受け止めて、安心できる家庭的な環境に勤めています。ご家族からの情報も得るようにしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけこれまでの生活環境に近い暮らしぶりが出るよう支援しています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	有する能力において支援しています。利用者の小さな動作や心理面を見逃さないように情報を共有しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様のご希望により、福祉用具のサービス事業所と連携をとり手すり、車イスなど本人に必要な援助をしています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定された期間に、実施中の計画では対応できないような変化が利用者に生じた場合は、その都度見直しをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに食事、排泄、保清、身体状況等を記載し、又、その日の様子を記録しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族の状況に応じて通院等にご家族と連絡を取り、協力して行っています。入院時も、洗濯物の入れ替えや面会に行くなどして、不穏にならないように支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進会議を通じて、各機関と連携がとれご指導いただきながら支援しています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者様のご希望により、福祉用具のサービス事業所と連携をとり手すり、車イスなど本人に必要な援助をしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議に、あんしんケアセンターに職員の方が、参加していただき色々の情報交換が出来るようになったり、入居のご相談を於けたり、協働しています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族と相談の上、同法人内の、病院、クリニックへの受診を支援しています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力病院といつでも連絡がとれるようにしてあります。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>管理者が看護師資格を有しており、体調管理や医療面での相談、健康管理を行っています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>医師やご家族との相談のもと早期退院に向けて対応しています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族の協力のもと、ご希望であればターミナルの件も含めて契約時に話しています。その様な状態が発生した場合、協力病院や主治医と相談し今後の考えられる状態を話し合いお互い合意の上で、ケアプランに記載しすすめる体制はできています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>末期癌の方がおられ、ターミナルに向けて医療機関とも話し合いを進めている。今は、月に一度の受診で対応しているが、状態により受診を検討していきます。職員は初めてのことで、学ばせてもらい悔いのないように、看取りたいと話合っています。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>長期入院になり退所した方はいるが、情報は渡しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーについての意識向上を図り、日常のかかわりの中でも常に意識しながら支援しています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>一人一人の理解力やコミュニケーションの能力に合わせた話かけを行い解かって貰える様に支援し常に主体性を尊重し、自己決定又は、決めてもらえるような働きかけを心がけています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大勢で歌うときやレクのときも表情や状態などに気配りをし、外出、買い物等の希望があるときはすぐに出来なくても約束をして対応する様にしています</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>着替え等ご自分で出来るように支援しているが、介助が必要な方やご自分で決めにくい方には、本人の意向に沿うような支援をしています。希望の理美容店に行き、カットされたりしています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理、盛り付け、片付け等は一緒に楽しみ、種播きから世話をした野菜を食卓にだし、一緒に食べたりしています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>コーヒーやお茶等好みのものを提供し、嗜好品については本人やご家族から聞き出し、出来るだけ日常の暮らしの中で楽しんでもらえるように配慮しています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間や習慣を把握しトイレ誘導を行ってトイレでの排泄を促すように配慮しています。排泄チェック表を使用し排泄パターンの把握に努めています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助が必要な方には安全面に気を配りその人に合わせた介助方法をくふうしている。介助場面が多いので夜間の入浴は行っていません。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	テレビのラジオ体操を活用し、手足の運動や、体を動かすことにより、穏やかな睡眠を促したり、一人一人の体調面を考慮して休息が必要な人には午睡を取り入れたりしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理や盛り付け、洗濯物を畳んだり、各自が得意なものを發揮してもらうように働きかけています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお金の管理が出来る人には買い物の際に付き添い地域での社会性を継続してもらうように、支援しています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を、毎日の日課として、外出の機会を増やし肌で季節感を感じてもらえるように工夫しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	食事会を計画、実施したり、お弁当を持って、バスハイク等に出かけました。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や、絵手紙を送ったりできるように、支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来て頂けるような雰囲気作りに努めています。来訪時にはお茶を出したり話しやすい環境作りに努めています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しての研修に参加したり、勉強会を実施し指針に基づいて日常的なケアが身体拘束に当たらないか検討しています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵を掛けない自由な暮らしの支援をしています。利用者一人一人の精神状態を把握し、その日の行動については常に気を配っている。外出しそうな方の対応について声掛けの仕方や対応について工夫しています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	記録や事務作業は利用者と同じ空間でおこなっている。一日を通じて所在を把握しながら業務をこなしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目の届きにくい場所では洗剤や薬品は高いところで安全な場所に保管しています。職員は充分な見守りの元、利用者は調理もし、包丁も使用しているが使い終わったら鍵のかかる場所に保管しています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書を提出し毎回検討しています。全職員に対しリスクに対する意識を高めるように勤めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	入職すると緊急時の対応について研修を受け各自が対応できるよう勉強会を開いています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人内で消防署の方たちの指導を受け防災訓練を実施し避難場所等について話し合いの機会を設けています。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご自分の意思で生活を楽んでもらうために、できるだけ制限のない生活を送ってもらえるよう、見守りはいたしますが、リスクはつき物ですと、ご家族と良く話し合いご家族に理解してもらおうように勤めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、バイタルを計り健康管理している。小さな変化も見逃さないようにしている。全職員情報交換をし状態が急変した時は主治医に早めに受診しています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに薬の内容・副作用等ファイルされ全職員が理解するようにし、薬に対する状態の変化等についてすぐに管理者に報告する体制を取っています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便について記録し、水分摂取に注意し日中はさんぽ、レク等取り入れ体を動かすようにしています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を話し合い毎食後のみがき、声かけして習慣づけるようにしています。歯磨きが、ご自分で出来ない方には、支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の把握をし、食事の形態等の工夫をしています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルに沿って日ごろより予防に努めています。インフルエンザの予防接種を早めにうけ、ノロウイルス対策には、手洗い・うがいの徹底を図っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾党派毎日消毒し、冷蔵庫の点検もしている。調理器や台所の水周りはその都度清掃し清潔を保っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関までスロープになっていて出入りしやすい環境になっています。建物周囲には季節ごとに花が咲き、季節感を楽しむことも出来ます。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルや椅子は、シンプルなものを配置して家庭的な雰囲気になるように工夫しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあった人とおしゃべりをしたり、趣味の事をしたり、皆で歌を歌ったり、また、お茶を飲んだりして、楽しみのある環境作りを工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの制限はしておらず、馴染みの物、写真などを飾り、居心地良く過ごせるようにしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節は常に外気温を考慮し、エアコン、加湿器の使用や、換気を行っています。冬場も毎日の様に散歩に出かけていますが、風邪を引いたりすることもなく、元気に過ごされています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ安全面に配慮しています。歩行困難な方には、車椅子を用意し、活動的に生活できるよう工夫しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	季節に合わせた飾り付けをしたり、季節に合った歌をレクレーションに取り入れたりしています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花を植えたり、野菜の種をまいたり環境作りを楽しんでいただいております。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

広い敷地の中で、ゆっくりと散歩を楽しむことができますし、施設の周りの、花や木々の移り変わりから、肌で季節を感じ取ることで、生き生きと生活を過ごしていただけたらと思います。また、閑静な中にも、人の行きかう姿を、見ることで、周りからの活力が得られ、地域での生活が出来ると思います。看護師が常勤で勤務していることで、健康管理、体調管理がされ、また、法人内に病院が併設されていることで体調を崩された時でも迅速に対応が出来ます。また、近隣に系列施設の託児室があり子どもさんとの触合える機会があります。高等学校も近くにあり学校行事に参加させていただくなど交流も深めています。